

当会会員の(有)横山鉄工(帯広市)が

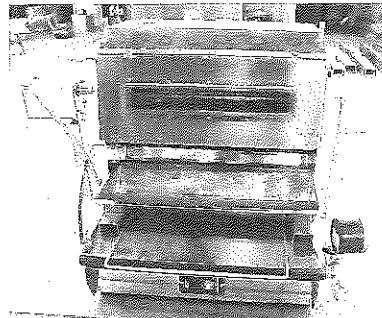
平成 28 年 12 月 20 日付の日刊工業新聞に紹介されました。

横山鉄工が中国進出

パウムクレーン
オーブン
現地企業と拡販

【札幌】横山鉄工(北海道帯広市、横山邦彦社長、0155・33・3511)は、菓子製造機械のパウムクレーンオーブン(写真)で中国市場に進出する。海外への進出は初めてで、現地企業と連携して中国各地に製品を売り込む。2017年1-2月をめぐりに中国を訪問し、デモ機械を現地企業の顧客に披露したい考えだ。年間1000万円程度の売り上げを目指す。

中国進出は、電子デバイスの中核部品を製



り、中国内の営業活動に協力する。横山社長は「これを足がかりとして、将来的には農機具などの営業展開も一緒にしていきたい」と見据える。

造し、日本やドイツに輸出する秦皇島市燕秦納米科技(エンシンナミ)などと連携して取り組む。

具体的には、日本企業の納豆製造機械設備を手がけるエンシンナミ子会社が窓口とな

横山鉄工は51年に設立した。農機具などの機械加工のほか、00年頃から菓子製造機械も手がける。パウムクレーンオーブンは、卓上式や量産用などもそろえており、累計で約20万台販売している。